



年頭にあたって

会長 有馬 朗人

明けましておめでとうございます。今年皆様にとって飛躍の年となり、実り多き年となりますように願っております。

今や世界中いたるところで様々な分野で日本人が活躍しているのは周知の事実です。昨年、5月にチリの電波観測所でも日本人技術者の働きぶりを見てまいりました。日本人はチームワークに強く、期日内には必ず仕事を仕上げるといふ点においても世界に認められています。これも日本の教育の平均が高いという特徴によるものです。しかも、近年の教育の動きとして、個人の実力を伸ばすと同時に集団の個性を伸ばすという傾向があるのは喜ばしいことです。教育の現場におられる先生方の努力は涙ぐましいものがあり、文科省はその努力を認め欧米に比べて少ない教育費をもっと増やして人材を育てる先生方の手助けをしてほしいものです。これからは、更に独創性を伸ばし創造性のある若者、議論する力、質問ができる力のある若者を育てていかなければなりません。そのためにはマークシート方式を減らし、学校の国際化を進める必要があります。教育機関は世界に門戸を広げ、色々な国から教師を受け入れて広い視野をもっておこなうべきです。今後は、大学ではもっと国際語である英語での授業も行えるようにならなければならないでしょう。

それから、毎度エネルギー問題で恐縮ですが、これは本当に差し迫った危機的状況にあります。地球温暖化の問題は解消していないどころか益々大きくなっています。地表温度が4℃上昇すると、人類は10億人しか住めなくなるのです。そして、日本の自給率は4%にすぎません。原子力に関しても、科学者は社会の雰囲気迎合して沈黙してはいけません。きちんと科学的、技術的に議論し、安全性とバックエンド(核



廃棄物処理)の問題を早急に解決しなければ進めることはできないのです。経験をふまえた原子力技術ではロシアは先進的な役割を果たしています。日本とロシアの科学者は協力して克服していこうではありませんか。昨年は、宇宙ステーションでの日露の協力も喜ばしいニュースでした。これからも日露のエキスパートたちは力を出し合って人類に貢献すべく様々な問題に取り組んでいくことを切に希望します。

間もなくソチ・オリンピックが始まりますが、昨年は2020年の東京オリンピックが決まり、富士山はユネスコの世界遺産に登録され、和食が世界無形文化遺産になるなど、喜ばしい

出来事も重なりました。世界中で日本文化のブームが続いていますが、ロシアでも各地で日本文化が愛されていると聞きます。ここで俳句について語らせていただきますと、俳句は短くて作りやすい、主題が自然の風物で見つけやすいということがあり、たいへん大勢の方々を楽しまれています。形が決まっただけで、即物的客観的に表現するために、誰でもつくれるという利点があるのです。俳句にはアニミズム、自然を尊び、自然と人間の共生を大切に思う思想があります。自我の表現を抑え、人々と協調し、自然を敬愛し祖先を崇拝するという、日本の古くからの文化に共通する特徴があるのです。それから、句会は平等思想で、指導者といえど無記名で投句して選句されますから仲間の目を通して磨かれていきます。俳句はエリートや専門家のみのものでなく誰にでも解放されたものであり、一般の人々に、さらには世界中で作られています。

草の蝶 別世界のしじま開きおり

ウラジーミル・ゲルチック

異文化交流により相互理解を深め、友好を推進し、世界平和を目指しましょう。皆様のご健康、ご活躍と更なるご発展を心よりお祈り申し上げます。